

課題名	22. ブドウの果粒汚染の少ないチャノキイロアザミウマ防除薬剤													
成果の概要	<p>アグロスリン水和剤及びアディオン水和剤は果粉の溶脱は軽い、薬剤そのものの汚れが目立った。</p> <p>バイスロイドEWは果粉の溶脱が他剤と比べて最も軽く、薬剤そのものの汚れはなかった。</p> <p>果粒汚染の少ない薬剤は袋かけ直前まで使用できるが、汚染が目立つ薬剤は小豆粒大までの使用に限定した方がよい。</p>													
成績概要	薬剤による果房の汚染													
	試験薬剤名	果粉溶脱程度					発生率	発生度	薬剤汚染程度					発生率
		無	軽	中	甚	計			無	軽	中	甚	計	
	アグロスリン水和剤	12	23	3	0	38	68.4	14.0	24	13	1	0	38	36.8
	アディオン水和剤	11	21	4	0	36	69.4	15.3	18	16	2	0	36	50.0
	バイスロイドEW	17	16	3	0	36	52.8	11.6	36	0	0	0	36	0
パダン水溶剤	1	10	19	0	30	96.7	37.2	30	0	0	0	30	0	
無処理	50	0	0	0	50	0	—	50	0	0	0	30	0	

<p>成 績 概 要</p>	<p>(果樹試験場)</p>
<p>普及上の留意点</p>	<p>小豆粒大～袋かけ直前の間は果粒汚染の少ない薬剤を使用し、それ以外の時期は他剤を使用し同じ薬剤の連用を避ける。</p>